

ふれあいネットワーク

No.107

しあわせ

2018

12

DECEMBER

編集・発行 一宮町社会福祉協議会

発行回数 年3回



子どもからお年寄りまで
世代を越えて繋がり地域の絆へ

住 所 一宮町一宮1865 電 話 0475-42-3424
E-Mail ichinomiya-shakyo@topaz.ocn.ne.jp

仲間と笑いあい、楽しいおしゃべり むつまじい姿を眺めて...

平成30年10月8日、一宮町保健センター・保健センター前駐車場、役場前駐車場及び一宮町中央公民館を会場に第5回一宮町ボランティア福祉フェスティバルが開催されました。

このフェスティバルは、町内の福祉施設や地域見守りネットワーク協力団体、ボランティアセンター登録団体他、合わせて25団体と一宮中学校3年生のボランティア及び園芸ボランティアと今回、初めて子育て支援団体4団体の協力により子ども祭事業を併せて開催しました。

当日は、天候にも恵まれ昨年を上回る多くの町民の皆様にご来場いただきました。

子どもたちも一緒に

10月8日に開催された、「第5回ボランティア福祉フェスティバル」ですが、今年度は初の試みとして、子ども祭り事業を併せて行いました。会場にはいつもにも増して、子ども達やご家族での来場が多く見受けられ、大変な賑わいでした。こうしたイベントをきっかけとし、参加団体の相互理解や交流が深まり、来場者の皆さんにも身近な地域福祉のことを、改めて考えていただける良い機会になっていると感じます。

普段、社会福祉協議会になじみのある方もない方も、楽しみながらボランティア活動に協力出来る事は、非常に公益性が高く、より地域の絆が強くなるのではないでしょう



格好いいでしょう



ピーヒャラ、ドンドン(神楽愛好会)

藤井幸恵



ハイゼックスをどうぞ



わーかわいいハートラちゃん



メロディーに酔いしれて

何時もボランティアの方々の心のこもった手作りの配食サービス、作って下さる方、届けて下さる方、本当に有難う御座います。当日のお弁当も大変美味しく、厚く御礼申し上げます。

今回の昼食会では、ピアノを弾いて下さいとの御依頼と又皆さんで歌える歌もよろしく!との事でしたので、町のスピーカーから流れているほっこりと心

毎日流されている 曲の様にほっこりと 心とお宮町

ふれあい昼食会

平成30年10月25日に第33回ふれあい昼食会が開催されました。当日は39名のおひとり暮らしの高齢者の皆様とボランティアによるお食事会と演芸等、楽しいひとときを送りました。今年度は参加者からピアノ演奏の披露など、参加型のプログラムを準備しご好評をいただきました。



バランスを考えて

のボーランドの女流ピアノスト、バグジェスカが作曲したもので他にも沢山の曲を作りましたが、今はこの乙女の折り紙だけが残っています。一宮町も流れている曲のようにはほっこりと心とふれあいの町が続きます様に...

萩原容子

ナール作曲とシューベルト作曲が有名で今でも歌われています。乙女の折りはシヨパンと同時代



とってもおいしいね

平成30年11月13日、千葉県文化会館にて千葉県赤十字奉仕団70周年記念大会が開催され、奉仕団と事務局15名が参加をしました。当日は奉仕団活動功労者への表彰と記念講演、交流会、千葉県商業高校吹奏楽部による演奏が行われました。一宮町日赤奉仕団には支部長特別感謝状が贈られ、団員15名が表彰されました。

見て！知って！ 広げよう赤十字の輪を

平成30年11月13日（火）千葉県文化会館において記念大会が盛大に行われました。まず最初にプロローグ「ちばの赤十字と奉仕団のあゆみ」と題して明治25年に創設され戦争や関東大震災における救護活動を経て昭和23年赤十字奉仕



大坪委員長のあいさつ

団が誕生し「人道の精神」に基づき様々なボランティア活動を行い現在に至るまでの様子が上映されました。式典では、千葉県知事を始め関係者の方々より祝辞等を頂きました。受賞式では一宮地域奉仕団として銀色有功章は8名、支部長感謝状（金枠）では4名、銀枠は3名頂きました。第2部では桶口恵子氏による「人生100年支え方・支えられる方」を題しての講演が行われました。「人生100年社会」家族・血縁がなくても支え合う社会を構築できるかどうか一人一人が考える時代になっているお話をしていた頂きました。最後に千葉県立千葉商業高等学校吹奏楽部の演奏が行われ楽しいひとときを過ごさせて頂きました。これからも日赤奉仕団の一員として出来る限り活動・協力して行きたいと思えます。

参加者有志



吹奏楽部による演奏

児童 学保 子供たちの 安全のために

平成30年11月21日、一宮町社会福祉協議会で植物アレルギー対応研修会が開催され、学童保育の先生方が受講をしました。当日は、一宮町福祉健康課の早川保健師を講師に迎え、アレルギー反応についてやその反応があらわれた時に使用する補助治療剤（エピペン）とその使用方法について等を学びました。

アレルギー反応の起きた児童が、エピペンを処方されているのであれば、ためらわず、使用するにとともに救急車を呼ぶこと、その際、児童の継続的観察をする人、エピペンやAEDを準備する人、救急車等連絡をする人等スムーズに対応出来るように役割分担を決めておくこと良しとの意見をいただきました。

それに併せて、保護者と先生達で情報共有をしておく事も大切なお話もありました。

子供たちが、楽しく安心して学童保育で過ごせるよう、今後保護者の方々との連携を密に運営して参りたいと思えます。



長谷川恵利

アレルギー反応が起きたときは

電話de詐欺

一宮町つくも会は、この10月10日に千葉県警察本部生活安全部長より“振り込め詐欺被害”に遭わないようにと実施した『電話de詐欺撲滅運動への協力』に対し感謝状を頂きました。

運動の取組内容は9月14日に実施した“増え続ける電話de詐欺被害”に遭わないよう『詐欺犯罪の進入路を遮断させ、犯人との接点を断ち切る行動＝家庭の固定電話機を常時・留守番電話設定にする』ことを、一宮町つくも会員宅を訪問し“固定電話機の設定替え”をお願いすることでありました。

私たちつくも会は、これからも友愛訪問活動の一環として会員の皆さんに『電話de詐欺撲滅運動』への参加を呼びかけ“振り込め詐欺”に遭わないよう『注意喚起』の活動に取り組んでいきたいと思えます。

輝く“17連覇” を達成

10月24日、茂原市民体育館において長生地地区7市町村の会員400余名が集結して、第17回長生地地区老人スポーツ大会が、盛大に開催されました。

今年から天候を気にせず屋内での実施となり、室内で競技できない種目の変更もあり、得点種目となる団体戦が7種目、個人戦は3種目、そしてフリー競技が2種目で行われました。

つくも会は16連覇を達成しているため、他市町村からの強い視線を受けながらも、これまでの実績によりプレッシャーもなく得点となる団体戦7種目のうち5種目で1位、2種が2位と圧倒的な強さで2位以下を大きく引き離して今年も優勝し、17連覇という輝かしい成果を上げることができました。これも会員の普段からの健康管理、融和団結が実を結んだものと強く感じました。



入った！

高橋輝行



詐欺撲滅啓発活動に協力

農林商工祭

爽やかな 秋晴れの中で

平成30年11月3日、爽やかな秋晴れの中、一宮町保健センター西側駐車場にて開催された一宮町農林商工祭に参加しました。
赤い羽根共同募金の啓発や、一宮町シルバー人材センターの啓発を行うとともに、一宮町ボランティアセンターのキャラクターである「一宮ポックくん」のデザインの入ったどら焼き、クッキー、ボールペン他の販売をおこないました。



赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございました



ポックくんもよろしくね

第68回千葉県社会福祉大会にて 表彰された皆様です

社会福祉施設・団体関係職員 功労者

氏名	所属
秋葉千代子 様	愛光保育園
高橋 俊洋 様	特別養護老人ホーム
前田美奈子 様	一宮 苑



10月13日一宮町GSSセンターで、郡市障害者スポーツ大会が開催されました。
私は9月に入り、3回程個人3種目・団体4種目を練習しました。私は個人競技は輪投げに出場しました。練習の甲斐あって10投中9投入れる事ができ、うれしかったです。
団体競技はゲートボールです。

障害者 スポーツ大会

みんなと一丸！ 大差をつけて優勝！

に出場しました。この競技は1人3個のボールを3回打った点数を、7人の合計点で順位が決まります。私は少し力になったと思います。他の団体競技3種目も、皆一丸となり二位に大差を付けて、優勝する事が出来ました。来年は二連覇目指したいと思います。

渡辺春子



寄贈されました。

株式会社伊藤園様より、ヘルパー車(1台)と車椅子(5台)、血圧計(3台)、電子体温計(5本)、パルスオキシメーター(1台)の寄贈をうけました。介護サービス利用者の方々からのニーズにスピーディーに対応するために活用していきます。



編集後記

行事の多い秋も過ぎ、この冬はエルニーニョ現象で暖冬になるようです。先頃のボランティア福祉フェスティバルでは、お年寄りから子供たちまで幅広い人達が地域福祉に関心を持って参加して下さいました。色々な活動を通して、世代を越えた交流を深め、お互いが思い合えるような地域づくりに協力していきたいと思います。

柳澤伸子



お願い入って



真ん中を狙って